



昭和医科大学病院

検索



昭和医科大学病院附属東病院

検索

発行 昭和医科大学病院、東病院
発行責任者 昭和医科大学病院長 相良 博典
編集責任者 広報委員長 山岸 昌一
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
TEL: 03-3784-8000 (代表)

就任のご挨拶

昭和医科大学病院 腫瘍内科 ^{ほりいけ あつし}堀池 篤

このたび、昭和医科大学病院腫瘍内科の診療科長および腫瘍センター長を拝命いたしました堀池篤と申します。腫瘍内科は、肺がんや胃がん、大腸がんをはじめ、肉腫や原発不明がんといった多様ながんに対し、主に薬による治療を行う診療科です。

近年、がんの薬物療法は大きく進歩し、薬で治すことも夢ではなくなりつつあります。その一方で、治療の選択肢が増えたことで、より高度な専門知識と経験、そしてチーム医療が求められるようになってきました。

私はこれまで、がん専門病院での経験を活かし、常に一人ひとりの患者さんに合った最善の治療を心がけてきました。これからも、安心して治療を受けていただける診療体制の充実に努めてまいります。



<プロフィール>

- 平成2年 東京学芸大学教育学部附属高等学校卒業
- 平成3年 香川医科大学医学部医学科入学
- 平成9年 同 卒業
- 平成14年 国立がんセンター中央病院 内科（治療開発）がん専門修練医
- 平成16年 癌研究会附属病院 呼吸器内科 シニアレジデント
- 平成18年 がん研究会有明病院 呼吸器内科 医員
- 平成24年 同 医長
- 令和元年 昭和大学医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門 准教授
- 令和7年 昭和医科大学医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門 教授
昭和医科大学病院 腫瘍内科 診療科長、腫瘍センター長（現在に至る）



※記事見出しの色分けについて

黄色見出し:

患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し:

医療関係者向け

緑色見出し:

医師の配属・異動・退職について

<今後の展望>

腫瘍内科では、がんを臓器別ではなく全身の病気としてとらえ、患者さんの体の状態や併存疾患、ご希望などをふまえて、お一人おひとりに合った薬物療法を行っています。治療の選択肢が増えている今だからこそ、専門的な判断とともに、安心して治療を継続できる体制づくりが一層重要になっています。

今後は、がん免疫療法など新しい治療法の導入に積極的に取り組みながら、患者さんの状態に応じたきめ細やかな対応を進めてまいります。また、院内の診療科や看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなど多職種との連携をさらに深め、チームで支える医療の充実に努めてまいります。

現在、診療の合間を縫って、医療連携室とともに地域の医療機関を訪問し、ご挨拶をさせていただいております。今後も地域の先生方との連携をより一層大切にし、紹介患者さんの円滑な受け入れと情報共有を通じて、地域に根ざした切れ目のないがん医療の実現を目指してまいります。必要なときに安心して受診できる診療科として、誠実に努めてまいります。

今月は「1年目 臨床検査技師」の恒益 菜央（つねます なお）さんをご紹介します。

臨床検査技師を目指した理由を教えてください。

私は、AML(急性骨髄性白血病)を患った経験があり、その治療に必要な多くの検査を担っていたのが臨床検査技師だと知りました。正確な検査が治療に直結することを自身で実感し、当時の医療スタッフへの感謝の気持ちが芽生えました。その経験から、治療の始まりである検査を通じて誰かの命を支えたいと考え、臨床検査技師を志しました。

現在、どのような業務をしていますか。



現在は採血室で採血業務を担当しています。血管の状態や求められることが患者さんごとに異なるため、それぞれに応じた対応の難しさを感じつつ、先輩方の指導のもと、技術と対応力を学んでいます。

今後は輸血検査室に配属され、輸血業務の研修を受ける予定です。

今後、どのような臨床検査技師を目指しますか。

正確かつ迅速な検査を提供することはもちろんですが、検査内容や結果に対して患者さんが抱える不安や心配に寄り添い、短い関わりの中でも安心を届けられる臨床検査技師を目指しています。輸血検査室では患者さんと直接接する機会は少なくなりますが、その中でも傾聴を大切にし、思いやりのある対応を心がけたいと考えています。



恒益 菜央（つねます なお）さん



中央棟 1 階正面玄関にて季節の飾り付けを行いました。

今回のテーマは秋の訪れです。

今後も季節に合わせて、飾りつけを行う予定です。ご来院の際は、ぜひご覧ください。

令和7年9月15日(月・祝)の外来診療は以下の通りとさせていただきます。
患者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

対象日	診療状況	
	外来	救急外来
令和7年9月15日(月・祝)	臨時診療 【内科系】・【小児科】 8:30~17:00	救急診療は 通常通り実施します。

※臨時診療日は人員を縮小しているため、専門医による診療を提供できない可能性があることを予めご了承ください。

※臨時診療日は、休日加算および時間外選定療養費(注)(8,800円)を徴収いたします。

(注)紹介状持参、当院かかりつけで予め来院指定の患者さんは時間外選定療養費の徴収はありません。



当院の食事は、医師の指示により病状にあった献立とし、行事食を取り入れた温かい食事をご提供しております。9月は「敬老の日」や「十五夜」を予定しております。

※写真は昨年度のものです。



敬老の日



十五夜

お知らせ

防災訓練実施のお知らせ

令和7年9月21日(日)防災訓練を実施いたします。当日は下記のとおり病院スタッフや消防署スタッフが防災訓練を実施いたしますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

■実施日時 令和7年9月21日(日) 13時00分～16時45分予定(片付け含む)

■訓練場所・内容 昭和医科大学病院
□中央棟1階総合エントランス及び中央棟1階外来会計前にてトリアージ訓練

昭和医科大学病院附属東病院
□1階フロア・各部署にてトリアージ訓練・搬送訓練



昭和医科大学病院の中央棟と入院棟を結ぶ渡り廊下に、ボランティアスタッフによる作品の展示コーナーがございます。

8月は「永久」作品集。薔薇をテーマとした写真と言葉の展示でした。ご覧いただいた皆様が少しでも爽やかなお気持ちになっていただければ幸いです。

展示は定期的に変更を予定しておりますので、暑さ厳しい季節ではございますが、ご来院された際にはぜひご覧ください。



当取り組みは、昭和医科大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、**チーム力を高めること**で患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

薬剤部から看護部へのありがとう！



古川 師長へ

対話を重ねながら現場の課題に向き合い、多職種連携を積極的に支援していただき、心強く感じております。

【患者さんに与えた良い影響】

多職種連携を促進し、安全な医療体制の提供に尽力していただいています。

腫瘍センターのみなさんへ

腫瘍センターでは、薬剤師 1 名体制での対応となっており、全ての患者さんを十分にフォローしきれない場面もあります。そんな中で、看護師のみなさんから日々いただく、副作用や体調変化に関する情報は非常に助かっております。

【患者さんに与えた良い影響】

皆さんの細やかな観察と情報共有のおかげで、必要な患者さんに対して、適切なタイミングで薬物療法の提案や副作用対策を行うことができます。患者さんにとってより良い医療を提供する為には、こうした多職種間の連携が本当に大切だと実感しています。日々のご支援に心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科から事務部へのありがとう！



総合サポートセンターの みなさんへ

医局で周知されていなかった救急外来での医師の対応に不満がある患者さんを報告していただいた。

【患者さんに与えた良い影響】

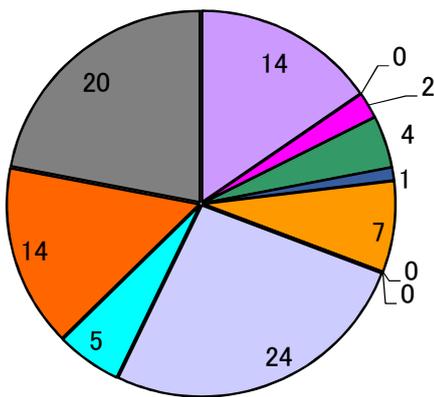
救急外来での医師の対応の不満を医師から説明することができ、不満を解消することができた。

日頃よりチーム医療にご協力いただきありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

患者さんのご意見・ご要望

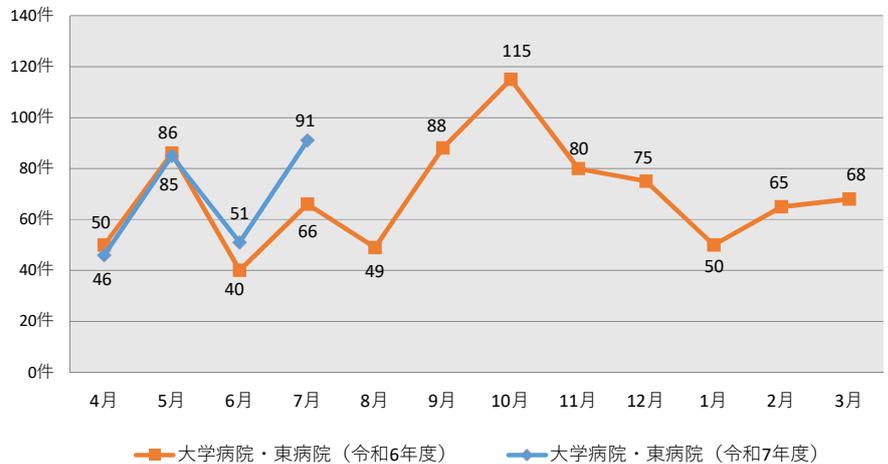
ご意見・ご要望	回答	回答部署
一階トイレのペーパータオルが取りだしにくい。	この度はご不便をおかけし、大変申し訳ございませんでした。清掃担当者と協議を行った結果、今後はペーパータオルをボックス内に8割程度の量で補充する運用とさせていただくこととなりました。この度は、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。今後とも、より快適な環境づくりに努めてまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。	管理課
男性トイレ個室の手前側の留め具のねじが緩んでいる。	この度はご不便をおかけして大変申し訳ございません。現地にて確認し、ねじを増やす、強めに締める等、修理をいたしました。今後ともよろしくお願いいたします。	施設課

令和7年9月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和医科大学病院・東病院総件数
91件



- 態度・接遇
- 診療内容
- 予約
- 待ち時間
- 面会時間
- 食事
- 会計システム
- 売店
- 環境(清掃・設備備品・エレベーター)
- 環境(駐車場)
- 感謝
- その他

令和6年度・令和7年度ご意見・ご要望の推移



異動

学外施設から（令和7年9月1日付）

- 産婦人科 堀江 真理

学外施設へ（令和7年9月1日付）

- 産婦人科 波多江 健五 ●整形外科 西 正智

附属施設から（令和7年9月1日付）

- 産婦人科 廣瀬 梨沙 ●形成外科 堀ノ内 魁 ●呼吸器外科 内田 泰誠

附属施設へ（令和7年9月1日付）

- 集中治療科 西山 穂奈美 ●乳腺外科 上田 康平



退職

（令和7年8月31日付） ●リウマチ・膠原病内科 高橋 良



編集後記

はやし なおき
乳腺外科 教授 林 直輝

今年の夏は40度を超えるところも出るほど、連日、災害級の猛暑となっています。熱中症対策に関する話題も連日ニュースになっており、患者さんにとっても、医療従事者にとっても通院が過酷な状況です。そんな中でも、病院全体が一丸となり、「チーム医療」の力がますます大切になっています。お互い支え合いながら、笑顔で乗り越えていきましょう。皆さま、どうかご自愛ください。

昭和医科大学病院・附属東病院の理念

- ・患者本位の医療
- ・高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和医科大学病院・附属東病院の基本方針

- ・患者さんと共にチーム医療を実践する。
- ・特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- ・教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- ・人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について